

子どもたちのウェル・ビーイングを保障する

平成28(2016)年11月25日

大阪市立北津守小学校 学校だより

11月号

校長 中谷和博



# きたつもリンク

11月14日(月)、今年度第2回目の学校協議会が開催されました。  
 今回は、本校の教育実践の目標をまとめた、「運営に関する計画」の進み具合(中間評価)、4月に6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果の公表などについて話し合いました。

## 運営に関する計画の中間評価

- 評価基準
- A: 目標を上回って達成した
  - B: 目標どおりに達成した
  - C: 取組んだが目標を達成できなかった
  - D: ほとんど取組めず目標も達成できなかった

### 【視点 学力の向上】

#### ○ 年度目標

- ① 1月に実施される「大阪市小学校学力経年調査」の国語科・算数科において、大阪市平均の80%を超える平均正答率の児童の割合を、80%以上にします。
- ② 保護者のみなさんへのアンケートで、「子どもは授業がわかりやすいと言っている」という肯定的な回答の割合が80%以上になるようにします。
- ③ 児童へのアンケートで、国語科・算数科の授業が「とてもよくわかる・だいたいわかる」と回答する児童の割合が、90%以上になるようにします。
- ④ 音楽科を中心にして、「言語活動」の充実を図ります。児童の「思考力・判断力・表現力」を育て、児童へのアンケートの回答から、「みんなの前で発表するのが好き」と答える割合が80%以上になるようにします。

達成状況

**B**

#### ○ 取組と指標

##### 取組内容①【インクルーシブ教育の推進】

落ち着いた雰囲気の中で学習に取組み、達成感を感じ取ることができるように、学習環境のユニバーサル化を図り、インクルーシブ教育を推進していきます。

〈指標〉 ・保護者アンケートや児童へのアンケートで、視覚的支援を含めた授業中の説明や指示がわかりやすいという肯定的な回答が80%以上になるようにします。

#### 〈進捗状況〉

- ・昨年度末の研修を受けて、年度始めから学級単位で学習環境を整えています。
- ・従来からの本校の取組みである「原学級保障」を軸にして、インクルーシブ教育システムの構築に努めています。
- ・昨年度末の研修を受けて、学習環境の整備や教材の工夫に取り組んでいます。また、障がいのある児童に応じた人的支援や各種活動における言葉の精選、ICTの活用など合理的配慮に努めています。
- ・これらの結果、本校における授業のユニバーサル化が進み、特別支援学級在籍児童だけでなく、全ての児童にとって学びやすい学校づくりを進めています。

達成状況

**B**

## ＜ 今後の改善点 ＞

- ・学校としての教室環境の整備の統一を図るために、意見交流を図っていきます。
- ・本校における「特別支援教育の在り方」について、次年度に向けてまとめ、整理していく必要があると考えています。
- ・授業のユニバーサル化をさらに続け、今後、インクルーシブ教育システムを構築して、全体の学力向上につなげていきます。
- ・全ての児童の学びを保障する授業規律の共通化を図っていきます。

## 取組内容②【アクティブ・ラーニング（能動的学習）の推進・研究活動の充実】

音楽科を中心として、各教科や道徳・特別活動などで、言語活動を基盤としたアクティブ・ラーニングをさらに進めていきます。

〈指標〉・ 児童へのアンケートで、「自分の考えを発表する」「反だちと教え合う」「自分たちで調べ」「わかったことをもとにして話し合う」「考えたことを書き表す」などに対する頻度と達成感を質問し、肯定的な回答が全校児童の80%以上になるようにします。

## ＜ 進捗状況 ＞

- ・音楽科を中心として、アクティブラーニングについて校内で研修を行ったり、研究授業を計画的に行ったり、各研修会に参加したりなどしながら見識を深めています。
- ・校内における研究授業を通して、めあての提示方法や学習の進め方について、教職員間で活発に意見交流しながら、研修を深めています。
- ・「自分の考えを伝えあう」ということに重点を置き、授業の進め方の工夫を図っています。さらに、児童自らが学習目標を決め、評価を行う場面を増やしました。
- ・その結果、一つの課題に対して、「仲間と共に主体的に学ぶ」ことを楽しむ児童の姿が見られ、以前より理解できるようになってきました。しかし、発表することが苦手と感じる児童も見られ、学習を深めるところまでにはまだ十分には至っていません。

達成状況

B

## ＜ 今後の改善点 ＞

- ・アクティブラーニングについて理解を深め、取り組んでいきます。
- ・基礎学力の定着を図るために、「ふりかえり」を授業の中で位置づけることや児童にとって「わかる授業」にするための工夫を図ります。
- ・児童が学習に主体的に取り組むための指導・支援のもち方を工夫します。  
(・学習指導要領や教科書に基づいて行います。)

## 取組内容③【ICTを活用した教育の推進】

取組内容①・②の達成のため、ICTを各教科・道徳・特別活動・外国語活動・総合的な学習の時間の学習活動に効果的に使って、授業を行います。

〈指標〉・取組内容①・②の達成のため、ICTを活用した授業を、全学年、週1回以上行います。

## ＜進捗状況＞

- 新たなICT機器の導入も進み、ICTが使用できる環境も整ってきているため、必要に応じて学習に取り入れる場面も多くなり使用する機会は増えています。
- 理解を深めるための一つの手立てであり、ICTの活用方法を考慮して進める必要があると思われます。
- デジタル教科書や配信されている教材を使用した結果、目で見てわかる授業の創造ができ、子どもたちの理解は深まっています。
- 2度にわたるタブレットの校内研修会、支援員による個別支援などにより、使用方法や活用の仕方などについて研修を深めることができてきています。

達成状況

B

## ＜今後の改善点＞

- 「使用」から「活用」につなげられるように工夫を図っていきます。
- 児童がタブレットにふれる機会をさらに増やし、活用できるようにします。

## 取組内容④【学校図書館の活用による言語力や論理的思考力の育成】

学校図書館の環境整備を行います。活用の充実を図り、言語力や論理的思考力を高めます。

- 〈指標〉
- 保護者やボランティアの方にも協力いただき、図書館開放を週7回以上にします。
  - 児童へのアンケートで、「読書が好き」「本などを使って調べることが好き」と答える児童の割合を80%以上にします。

## ＜進捗状況＞

- 図書館開放の実施、図書館支援員による支援、新しい本の購入や座席の配置換えにより、図書館を活用しやすくなり、読書をする児童が増えてきています。
- 計画どおりに環境整備が進み、利用しやすい図書館になっています。児童も読みたい本を探しやすくなってきています。
- 図書館の改装を行い、図書開放にも来る児童が増え、本好きの児童が増えつつあります。

達成状況

B

## ＜今後の改善点＞

- 図書室を調べ学習の場としても活用していきます。
- 委員会活動による図書館を使った取組を今後、検討していきます。

## 取組内容⑤【自主学習習慣の確立】

学びサポーターによる「放課後学習」や西成区の「ジャガピースクール」事業を活用して、児童の自主学習習慣の確立に努めます。

- 〈指標〉
- 児童へのアンケートの回答から、学校の宿題以外に自分で学習している回数（放課後学習やジャガピースクールを含む）が週2回以上ある児童の割合を50%以上にします。



## ＜進捗状況＞

達成状況

B

- 学習習慣の定着をめざし、ジャガピースクールや放課後学習などをしてきました。その結果、宿題だけでなくそれ以外の学習にも取り組むことができてきています。

## ＜今後の改善点＞

- ジャガピースクールや放課後学習への参加を促していきます。
- 宿題以外の学習もできる環境づくりに努めます。
- 次年度に向けて、家庭での自主学習習慣の確立のために、どのような取り組ができるか、検討していきます。

## 【視点 道徳心・社会性の育成】

### ○ 年度目標

- 「自己肯定感」「自尊感情」を引き出し、感じ取らせていく為の様々な取組を通して、児童アンケートで肯定的な内容で回答する割合を90%以上にします。
- 校内調査において、遅刻の児童の割合を、前年度より減少させます。
- 地域、関係諸機関合同の避難訓練を含め、年間3回以上の訓練を実施します。そして、緊急時に対する能力の基礎を養うとともに、日常における安全意識を高めめます。

達成状況

具体的な調査を  
未実施なため、  
年度末に評価し  
ます。

### ○ 取組と指標

#### 取組内容①【人権を尊重する教育の推進】

各学年で学期に1回以上ゲストティーチャーを招く、施設を見学するなどの体験的な学習を通して人権教育を推進し、児童の豊かな感性と人権を大切にして行動できる態度を養います。

＜指標＞ ・ワークシートや感想等より、主体的・能動的に学習したり、反だちと共感しながら取組むことができたりした割合を90%以上にします。

- 学期毎にQ-Uを実施し、結果を分析するとともに、各学級の取組に対する情報交流の場を設定し、集団育成に向けて活用します。

## ＜進捗状況＞

達成状況

B

- 各学期にゲストティーチャーによる授業・施設見学、体験活動等を計画的に実施し、年間計画に沿って実践しています。取組み後にはワークシートや壁新聞等の掲示で活動を振り返るとともに、実践が児童の実態に即したのかについて検討し、より充実した活動をめざして改善に努めてきました。
- また、平和学習についても、動物園からのゲストティーチャーを招いた平和の集いをはじめ、年度当初に立てた計画に沿って学年ごとに実践を進めてきました。
- Q-Uについては各学期ごとに計画的に実施し、結果を分析して全体で情報共有するとともに、児童理解、学級指導に活かしています。

## 〈 今後の改善点 〉

- ・見学や体験学習については、事前に取り組む理由やねらいをきちんと確認します。さらに、実施後は計画の見直しを行い、児童の実態に即した実践となるように改善していきます。
- ・Q-Uについても引き続き実施していきます。丁寧に分析を行い、今後の集団育成に役立てていきます。

## 取組内容②【学校・家庭・地域の連携の推進】

遅刻の児童の減少をめざし、遅刻気味の児童への適切な言葉かけや支援を行うとともに、家庭へも随時連絡を行い保護者への協力も図ります。

〈指標〉 ・遅刻する児童の人数を平成27年度の1日平均3.8人から3人未満にします。

## 〈 進捗状況 〉

- ・継続した児童への指導と保護者への啓発が少しずつ実り、遅刻は減少傾向にあります。しかし、遅刻する児童の固定化が顕著に見られます。

達成状況

B



## 〈 今後の改善点 〉

- ・地域や関係諸機関等とも連携しながら、改善に向けて継続した指導を行い、保護者の協力をさらに仰ぎ、児童の意識を高めていきます。

## 取組内容③【安全教育の推進】

保護者・地域・関係諸機関と連携して、防災教育・防犯教育・交通安全教育・情報教育などを行い、安全への意識を高め、緊急時に対応する能力の基礎を養います。

〈指標〉 ・年3回、台風・地震・津波の避難訓練を行います。うち1回は保護者・地域・保育所・中学校と連携して土曜授業で実施します。さらに、心身の安全を守るため、登下校における黄帽子着用や廊下の正しい歩行等、日常的に安全教育を推進します。

## 〈 進捗状況 〉

- ・年度当初の計画に沿って避難訓練、防犯訓練等を実施しています。地域や区役所、消防署との合同による防災訓練を土曜授業として行い、防災・安全に対する意識づけを継続して実施しています。

達成状況

B



## 〈 今後の改善点 〉

- ・地震発生に備えて、今後は指導者が携帯電話等を必ず携帯しておくようにします。（地震発生の情報を受信するため）
- ・避難・防犯訓練については引き続き計画に沿って実施していきます。
- ・廊下の安全な歩行や黄色帽子の着用については、今後、指導を充実するようにします。



## 【視点 健康・体力の保持・増進】

### ○ 年度目標

- ① 保護者アンケート（保護者対象）における「早寝」「早起き」「朝ごはん」の3項目とも、肯定的な回答の割合を80%以上にします。
- ② 全校児童を対象に、年度末に新体力テストの「20mシャトルラン」・「ソフトボール投げ」を行い、全学年とも平成28年度6月の記録より向上させます。



### ○ 取組と指標

#### 取組内容①【健康な生活習慣】

「早寝」「早起き」「朝ごはん」の習慣化に向けて、日々の指導と家庭への協力・要請を随時行います。特に「早寝」ができるよう、学校生活で十分に活動し、生活リズムを整えていけるよう指導します。

〈指標〉 全校指導・学級指導・保健指導・栄養指導などの場で、「早寝」「早起き」「朝ごはん」に関して指導し、8月を除く毎月発行する配布物の中でふれます。また、月1回は学校ホームページで啓発します。さらに学校保健委員会で保護者への協力を要請します。

#### 〈進捗状況〉

達成状況

B

・「早寝」「早起き」「朝ごはん」の習慣化については、啓発活動や保健指導により、生活リズムのよい児童が増えてきました。しかし、朝食を食べずに登校する児童もいます。



#### 〈今後の改善点〉

・「学年だより」「保健だより」等により、引き続き家庭への啓発を行います。

#### 取組内容②【体力向上への支援】

- 全校で取組む体育的行事として、「なわとび週間」「体力テスト」「水泳指導」「運動会」「かけ足週間」「なわとび大会」を計画し、年間を通して児童の体力向上をめざします。
- 休み時間や放課後の運動遊びを積極的に行えるよう、「運動場のきまり」を整えます。また「走」「跳」「投」の運動遊びをする場を工夫し、休み時間や放課後の児童の遊びを確保します。
- 体育科の指導に、サーキットトレーニング的な運動やなわとび・かけ足を行う等、持久力を高められる運動や遊びを取り入れます。
- 「ゲストティーチャー」や「体育カード」の活用により、運動する意欲や運動遊びへの親しみを引き出し、体力を高めていきます。

〈指標〉

- ・「休み時間に運動場で遊ぶことが好きですか」という児童へのアンケートに対して、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にします。
- ・体力テスト・水泳指導・運動会・なわとび週間・かけ足週間・なわとび大会など、全校で取組む体育的行事を計画的に行います。
- ・児童の「持久力」をねらいとした簡単なサーキットトレーニングやなわとび・かけ足を行う授業を、体育科の年間授業時間数の50%以上行います。

- ・年1回、トップアスリートをゲストティーチャーとして体育の授業を行います。
- ・学期に1回以上、体育の学習で「体育学習カード」または「記録カード」を工夫して活用し、児童が目標や学習内容を明確にして学習に取り組めるようにします。

## ＜進捗状況＞

- ・体育的行事については、「水泳指導」「運動会」等を当初の予定どおり、計画的に実施しました。
- ・休み時間には、指導者も児童と共に運動場で過ごしたり、学級遊びを設けて活動したりして児童の体力向上に日々、努めています。
- ・体育科の授業の最初に「サーキットトレーニング」を行ったり、遊びながら体幹やリズム感を養える運動を取り入れたりしています。
- ・1学期には「トップアスリート夢授業」により、大阪エベッサのコーチをゲストティーチャーに招き、バスケットボールを体験しました。
- ・日々の授業では、「記録カード」や「学習カード」を活用し、児童の体力とともに意欲も向上できるように努めています。
- ・これらの取組の結果、運動に親しむ児童が増え、休み時間に外で遊ぶ様子を見られるようになりました。

達成状況

B

## ＜今後の改善点＞

- ・休み時間に外で遊ばない児童が固定化されているため、外で遊ぶ機会を増やす工夫を図ります。
- ・「投」の運動あそびのための場を設定します。
- ・「走」「跳」にかかわる運動は、今後、強調週間を設け、実施します。
- ・引き続き、授業において「学習カード」を積極的に取り入れていきます。

## 保護者のみなさんへのお願い①



- 11月9日（水）の朝、正門前で子どもたちを出迎えたときに、次のようなことに気づきました。
- ・多くの子どもたちが8時05分から8時25分までに正門をくぐりました。しかし、8時前に登校してきた子どもが数名いました。また、8時25分よりも遅くに登校してきた子どもが10名程度いました。
  - ・全体の8割程度の子どもは黄帽子をかぶって登校してきました。しかし、残る2割の子どもたちは、帽子を忘れていたり、かぶらずに手に持っていたりしました。
  - ・こちらからの「おはようございます」の声に、「おはようございます」とあいさつを返す子どもが増えました。まだ全体的に声は小さめですが、今後も、こちらから元気にあいさつしていこうと思っています。
- 生活規律の確立は学力向上の基礎としても重要です。各ご家庭において、今後とも引き続き次のことをお願いします。
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」の励行 ・朝の「おはよう」「行ってらっしゃい」「今日もがんばって！」の声かけの励行 ・毎朝の身じたくの確認（帽子・ハンカチ・ティッシュ・給食のマスクなどの忘れ物のないように…）

# 平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成28年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にさせていただきたいと思います。

## 1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

- 教科に関する調査（国語、算数）
  - 主として「知識」に関する問題（A問題）
  - 主として「活用」に関する問題（B問題）
- 質問紙調査
  - 児童に対する調査
  - 学校に対する調査



## 3 調査の対象

- 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- 北津守小学校では、第6学年 20名

## 平成28年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

### 【国語について】

- 国語A・Bとも、全国平均を下回っています。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」のそれぞれにおいて、課題があります。



- ・「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域に関しての、無解答率が  
高い結果となりました。
- ・国語Bにおいて、「記述式」の解答が求められる設問での無解答率が高い結果となりました。

#### 【算数について】

- ・算数A・Bとも、全国平均を下回っています。
- ・「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」のそれぞれにおいて課題が見られるが、とりわけ「数量関係」の課題が大きく、無解答率も高い結果となりました。
- ・算数A・Bとも「記述式」の解答が求められる設問に対しての無解答率が高くなりました。
- ・算数A・Bとも、こんな間違いがありがちであるという類型に入らない誤答が多くありました。

#### 【児童質問紙から】

- ・「毎日朝食を食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」という「早寝」「朝ごはん」に関する質問に対して、全国平均と比べて肯定的回答の割合がやや低い結果が見られました。
- ・「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」に対しては、肯定的な回答の割合が全国平均と比較して低い結果となりました。しかし、一方で「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか」という質問や「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」という質問に対しては、全国平均と比較して肯定的回答の割合が高くなりました。
- ・「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」という質問に対しては、「30分より少ない」または「全くしない」という回答が半数を占めています。
- ・「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」という質問に対しては、「全くしない」という回答が半数を占めています。
- ・読書する頻度に関する質問に対しては、1日の読書時間は「10分未満」もしくは「全くしない」という回答が半数以上を占めています。さらに、愛好度を尋ねる質問に関しては、肯定的な回答の割合が全国平均と比較して低くなりました。

### 分析から見えてきた成果・課題

#### 【国語】

- ・知識理解、活用共に課題が見られました。
- ・設問別集計結果から、漢字やローマ字の理解に課題があるために、文章を正しく読み取ることが難しい児童がいることがうかがわれます。
- ・問題の解決に向けて、自分の考えを書くことが苦手な児童がいることがうかがわれます。

#### 【算数】

- ・計算問題、不等号の理解などは正答率が高く、「数と計算」領域の理解は十分だといえます。

- 「数量関係」に関して、割合を百分率で表すことや、場面を適切に読み取って数を求めることなどに課題が見られ、問題解決のために順序立てて考える活動をさらに推し進めていく必要があるでしょう。
- 理解を深め、知識の活用を図るために、習熟度別指導をさらに継続させるとともに、アクティブ・ラーニングを進めていく必要があります。

#### 【質問紙調査より】

- 本校では、数年前より健康な生活習慣の育成として、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化をめざし、保健指導・栄養指導を行ったり、保護者への啓発を行ったりしています。徐々にその成果は表れてきて、遅刻する児童が減少してきています。また、朝食の摂取率も向上してきています。ただし、学年によっても違いが見られますが、学年が上がる则夜更かしする児童が多くなり、調査結果に表れるような傾向が見られます。
- 家庭での学習時間が短く、1週間を通算しても30分に満たない児童がいると思われます。放課後学習の充実を図るとともに、家庭にも粘り強く啓発していきます。
- 学校図書館の整備をさらに進めるとともに、読書回数を多くして、家庭での読書時間が増加するようにしていきます。



### 今 後 の 取 組

- 本校における教育内容と見直しと行事・取組の焦点化を図り、より「効果のある学校」づくりをめざしていきます。
- 各教科の学習指導過程の中で基礎的・基本的な事項を「教える」場面と、「調べる」「話合う」ことを通して理解を「深める」場面を設定し、アクティブ・ラーニングによる主体的・協働的な学びをより重視していきます。
- 体験活動を重視するとともに、発展的な調べ学習を展開し、児童の社会的な事象や科学的事象に対する興味・関心の幅を広げていきます。
- ICTを活用した教育の中身の充実を図っていきます。
- 基本的な生活習慣の育成のため、家庭・地域との連携をさらに進めていきます。
- 学校図書館の整備をさらに進め、読書活動の推進に努めます。
- 課題のある児童の学習活動を進めていくため、サポーターの活用をさらに行っていきます。
- 民間企業・団体等を活用して、放課後学習を充実させます。

# がっこうほけんいいんかい かいさい 学校保健委員会を開催しました！

こんねんど ほんこう がっこうほけんいいんかい ほっそく  
今年度より、本校でも「学校保健委員会」を発足させました。

## ○ 学校保健委員会って何？

がっこうほけんあんぜんほう だい じょう ほうりつ がっこうほけんけいかく なか い ち づ さだ  
「学校保健安全法の第5条」などの法律によって、学校保健計画の中に位置付けるものとして定められています。がっこうにおける健康に関する課題を研究協議し、健康づくりを推進するために重要な組織となっています。

## ○ なぜ、こんな組織が必要なの？

いま こ けんこうもんだい ふうさつか たようか しんこくか じょうきょう しゃかいかんきょう  
今、子どもの健康問題が複雑化、多様化、深刻化してきている状況にあります。社会環境や生活様式等の変化に伴い、この状況は今後もより一層進むことが予想されます。

しょうがい つう けんこう せいかつ おく がっこう こ せいかつこうどう かいぜん  
生涯を通じて健康な生活を送るため、学校では、子どもの生活行動をよりよく改善していくために、家庭や地域社会と連携を強化した健康問題への積極的な取り組みが求められています。

けんこう あんぜん かん がっこう かていおよ ちいししゃかい れんけい はか ちゅうかくてき そしき  
このため、健康・安全に関する、学校、家庭及び地域社会の連携を図るための中核的な組織である学校保健委員会を機能させる必要があります。

## ○ どんな人がメンバーなの？

ほんこう こうちよう きょうとう きょうしよくいん だいひょう じどう だいひょう ほごしゃ だいひょう しどう じよげんしゃ  
本校では、校長・教頭・教職員の代表、児童の代表、保護者の代表、そして指導・助言者として学校医の先生方により構成されます。必要に応じて、地域（連合町会など）・関係機関（区役所・保育所・中学校など）の代表も加わります。

11月19日（土）の土曜授業の3時間目には  
その第1回として、

「ダンスでぐっすりよく眠り、  
そして健康&元気！」



を開催しました。

こんかい してんのうじだいがくきょういぐくぶきょうじゅ まつもとたまき せんせい きょうりよく きょういくがっこうほけんきょういく  
今回は、四天王寺大学教育学部教授 松本珠希先生にご協力いただき、教育学科保健教育コースの3年生・4年生のみなさんに、「よい睡眠のためには体を動かすことが大切」というお話と、  
じっさい たの おし がくしゅう こうどう あつ  
実際に、とっても楽しい「ダンス」を教えてくださいました。学習は、講堂に集まって、たてわり  
はん はん おこな  
班である「ニコニコ班」で行いました。

だいがくせい みな じ こしょうかい あと すいみん はなし ねむ  
大学生の皆さんによる自己紹介の後、まず、睡眠のお話です。「きのうは、ぐっすり眠れましたか」という質問に、「寝るのが遅くなった」という反応を示すのは、やはり高学年の子どもたちが  
おお ひるま からだ うご よる ねむ はなし あと  
多いようです。「昼間、しっかり体を動かして、夜はぐっすり眠りましょう」というお話の後、さ  
っそく じゅんびうんどう  
っそく準備運動をしてダンスに入ります。

まずは、大学生のお姉さんが手本を見せてくださいました。「かんたんや！」「できるかな？」「むずかしそう…」「やってみたい！」子どもたちの表情からいろいろな反応が見て取れます。



次は、練習です。細かくパートに区切りながら、みんなで踊り方を覚えていきます。何度か全体で練習してから、各班に分かれて練習をしていきます。大学生のお姉さんたちも班にまじって指導していただきました。踊りを覚え、次第にみんなじょうずになっていきます。講堂のあちらこちらで笑顔があふれ歓声があがります。

さあ、「最後にみんなでやってみましょう」という声がかかります。音楽に合わせて、みんな元気に踊ることができました。終了後のふりかえりカードからは、「楽しかった」という子どもたちが約90%、「運動できた」という子どもたちが約80%という結果でした。「はずかしい」と感じて「運動できなかった」という子どもたちもいましたので、これからも、もっともっと子どもたちが元気に「表現活動」を楽しむことができるよう、そして健康な生活習慣が身に付くように取り組んでいきたいと思います。



すてきな時間を与えてくださった、四天王寺大学教育学部教育学科保健教育コースのみなさん、本当にありがとうございました。

## 保護者のみなさんへのお願い②



季節は、立冬も過ぎ、晩秋から冬へと確実に進んでいます。それとともに、日没の時刻もずいぶん早くなりました。次をご覧ください。

【大阪の日の出の時刻、日没の時刻、日照時間】	日の出の時刻	日没の時刻	日照時間
1月23日	07:02	17:18	10時間16分
2月23日	06:36	17:48	11時間12分
3月23日	05:57	18:12	12時間15分
4月23日	05:16	18:37	13時間21分
5月23日	04:50	19:00	14時間10分
6月22日	04:45	<u>19:15</u>	<b>14時間30分</b>
7月23日	05:02	19:07	14時間5分
8月23日	05:24	18:36	13時間12分
9月23日	05:47	17:53	12時間6分
10月23日	06:11	17:14	11時間3分
<u>11月23日</u>	06:40	<u>16:49</u>	10時間9分
12月16日	06:59	<u>16:49</u>	9時間50分

夏至の6/22と比べると、今は昼の時間は4時間以上短くなっています。また、今の季節は日没の時刻が1年で最も早い時期になっていて、午後5時にはもう日は暮れています。実は、1月や2月よりも、日が暮れる時間は早いのです。

夕方、校外を巡視していると、すでにあたりが暗くなりかけているにもかかわらず、子どもたちは、公園などで遊んでいます。早く帰るように声をかけていますが、「門限は6時やから」「5時半に帰るわ」との返事。また、帰るときも無灯火で自転車を走らせている子もいます。

**心配しています！**

子どもたちが、こわいめにあうことがないように、

**暗くなるまでにお家に帰るよう、お子さんと話し合いましょう！**



日	曜	12月の主な学校行事 <small>がつ おも がっこうぎょうじ</small>	
1	木	委員会活動 学習発表会リハーサル	
2	金	代表委員会 学習発表会前々日準備	
3	土		
4	日	日曜参観（学習発表会）	（地域行事）北津守もちつき大会
5	月	代休	
6	火	民族学級 日本語指導（3限）	P T A 役員会・実行委員会
7	水		
8	木	集会 ニコニコタイム ニコニコ給食 クラブ活動	
9	金	C-NET 出前水道教室（4年）	P T A 図書館開放 日本語指導（3限）
10	土		
11	日	非行防止教室（3限：5年生）	
12	月		
13	火	まちかど号 <small>ごう</small> 学びふれ愛（3・4限）	人権デー取組（5年・2限） 日本語指導（時間調整中）
14	水	個人懇談会 Re:fa 見学（5年）	
15	木	個人懇談会 音楽集会（2年）	
16	金	個人懇談会	
17	土		
18	日		
19	月		
20	火	日本語指導（3限）	
21	水	給食終了 地区別児童会 非行防止教室（6年）	
22	木	終業式	
23	金	天皇誕生日	
24	土		
25	日		
26	月	冬季休業	
27	火		
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		

※ 3学期の始業式は、1月10日(火)です。

がっこう  
学校ホームページ こうしん どんどん更新しています。

がくねん 学年ごとの行事や、ぎょうじ 学校全体の行事、がっこうぜんたい 授業のようすや、じゅぎょう 休み時間  
きゅうしょく 給食のようすなど、たくさんのせています。

さあ、パソコン・スマホから「北津守小学校」で検索！



けいたい  
携帯サイト